

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 簡易水道管路調査事業
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる
施策	1	快適な住環境づくり
小分類	2	安全な水の安定供給
主要な施策	3	水道事業の効率的な施設整備と事業運営
事務事業番号	009	事務事業コード 42123009 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	簡易水道事業特別会計	予算書上の事務事業名	簡易水道管路調査事業
------	------------	------------	------------

部 名	都市整備部	グループ名	水道室 簡易水道 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 導・配水管路
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 埋設箇所が不明である導・配水管路の位置等の調査(試掘、管種調査、位置測量)を行う。  導・配水管路調査延長 20.2km(208箇所)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 管路位置等現状を把握することにより、日常の漏水調査等の維持管理の効率化を図るとともに、安全・安心な水道システムの構築に向け、今後の老朽管等の更新計画を策定するための基礎資料とする。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		調査箇所 208箇所	目標値	208				
			実績値	208				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分				単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	千円	20,937					0
	道支出金	名称		千円						0
	地方債	名称		千円						0
	その他	名称		千円						0
	一般財源	名称		千円						0
合 計					20,937	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費				職 員	千円	446	0			
				嘱 託 員	千円	0	0			
				臨時職員	千円	0	0			
				合 計		446	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？  本事業の調査対象は簡易水道事業で管理している導・配水管であり、事業自体は妥当である。 なお、本事業は平成21年度で事業完了である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？  導・配水管路の現状が調査により結果が得られた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？  今後、導・配水管の更新計画のための基礎資料とする。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？  埋設位置が不明である管路を確認する手法としては、試堀により管路自体を確認し、情報を資料化することが妥当であると考えている。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成21年度の実施により、成果を得られた。
----	----------------------	-----------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）